

令和元年度「幼稚園 学校評価」結果

学校法人渋沢学園
いずみ幼稚園

令和元年度の幼稚園評価として教職員自己評価、学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが自己を見つめ直し、それぞれの評価結果について話し合うことで成果や今度の課題、改善の方法などを明らかにすることができました。この結果をもとに更なる教育活動の充実、環境整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I 教育目標 『豊かな感性・たくましい心身・考える子』

1. 自然に触れ合い、命の尊さと優しい心を育む
2. 豊かな感性と健康でたくましい心身をつくる
3. 一人ひとりの個性を大切に良さを引き出す
4. 安全・生活・社会のルールを身につけさせる

II 今年度の重点目標

1. 「ふれあい交流」

〈人間関係・感情・思いやり・優しさ・挨拶（言葉）・社会のルール・役割・想像力・表現力〉

◎元気な声で挨拶をする

◎異年齢交流…たて割り保育、表現遊び

○地域の方とのふれあい

○親子交流

○動物とのふれあい

○公共の施設を利用し、その場での約束やルールを学ぶ

2. 「自然体験」

〈身体能力・思考力・見る力・想像力・表現力・開放感・感性・自己肯定感・社会性・意欲〉

◎積極的に戸外へ出掛けて様々な体験活動を行う

◎自然に触れる…遊びや表現活動に取り入れる

○動植物を育てる

○季節の変化への気付き

3. 「食育」〈感謝する心・よく食べる・食事マナー・愛情・体験・気付き〉

◎食事マナー…箸の使い方、姿勢等

◎畑作り…育てる喜び、食べる意欲

○週に1度の愛情弁当

○食品とその働きについて興味を持つ

Ⅲ 評価項目と取組状況

	評価項目	取組状況
幼稚園管理運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知するよう努めている。(園ホールに掲示、園通信、地域回覧の園だより、HP、PTA 総会での説明等) ・全職員で共通理解を図りながら、一人ひとりの成長を大切に、クラス経営の充実を図っている。
	危機管理体制等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの中で各職員の役割を明確にし、周知している。 ・地震、火災の避難訓練や防犯訓練等を定期的実施。 ・大災害に備えた「緊急連絡システムを利用した一斉お迎え訓練」「防災献立」を実施。 ・日常の遊具、施設の安全確認や必要に応じて補修を行っている。 ・各部屋に冷房を設置。 ・敷地内への侵入対策、施錠の徹底。
	家庭、地域、関係機関への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・通信やクラスだよりの発行、園だよりの地域回覧、HP、有線、ケーブルテレビ等を利用して情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を深める取組みをしている。 ・オクレンジャーを利用してタイムリーな情報を配信 ・ファミリーコンサートや人形劇鑑賞会、運動会、もちつき等の行事の際に地域の方にも参加を呼びかけ、地域との交流を図るように努めた。 ・個別懇談の他、特に支援の必要のある幼児や保護者に対しては園内の支援体制を整え、家庭との連携を十分にとる。個々の状況によっては専門機関に繋げ、連携を取りながら子どもの育ちを見ていくことが出来た。 ・毎月の教育内容、指導内容をお便りで保護者に伝えている。 ・未就園児教室を開設したり、公開保育を行い、幼稚園を知ってもらったり交流したりする機会を設けた。 ・保育参観や懇談会は、なるべく参加しやすい日程を設定し、定期的実施している。 ・クラス担任の手伝いをしてもらいながら子ども達とふれあい、普段の園生活の様子を知ってもらおう希望保育デーを設けた。 ・保護者アンケートを実施し幅広い声や意見を把握する事ができ、結果を園だより等の書面で公開し、今後の教育活動の参考とすることができた。

教育活動	教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の職員会議や日々の打ち合わせ等で教育課程の編成（指導計画）や実施法（年案・月案・週案）について話し合い、教職員間の共通理解を図るために努力している。 ・園が定めている教育課程の健康・人間関係・環境・言葉・表現について達成する目標をもち、編成するよう努めている。 ・卒園までに身に付けたい10の目標について年間カリキュラムの見直しを行い、保育の中で生かすようにしている。
	発達段階に則した適切な幼児理解・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達段階に応じた適切な指導・援助に努めている。 ・個別懇談の他、特に支援の必要のある幼児や保護者に対しては園内の支援体制を整え、家庭との連携を十分にとる。個々の状況によっては専門機関に繋げ、連携を取りながら子どもの育ちを見ていくことが出来た。 ・加配教諭の配置。 ・専門支援員の観察・指導を受け、実践している。 ・一人ひとりについて教職員の話し合いを密に行ない、情報の共有に努め学年ごとのつながりを意識して保育に取り組んでいる。 ・自主的・主体的に学ぶ環境づくりをするよう努めている。 ・身近な自然や社会とかがかわることができるように園外保育や散歩、社会福祉施設の訪問や公共施設（温泉プールや図書館等）の利用などもしている。 ・野菜の栽培を通して感謝や喜び、気付き等の食育を大切にしながら、年齢に応じた食事マナーに気付ききっかけ作りをしている。
	幼稚園と小中学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教育内容について理解したり園児の様子を知ってもらう為に、幼保小中連絡会の他、年長児が近隣小学校との交流会を行ったり、行事の見学に行ったりしている。 ・近隣の小学生に来園してもらい、全園児との交流の場を設けている。 ・中学生の職場体験実習生を受け入れ、交流を行なっている。
	教員の資質向上研究・研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究保育の実施により一人ひとり指導力が向上し、保育の見る目も養うことができた。 ・園外（県内外）の研究会や研修会に参加し、職員の資質向上に役立てている。 ・幅広い支援の知識を得るために外部専門員を積極的に招へいし、教職員の資質向上に役立てている。

IV 総合評価

【総合評価】

- ・園での取組について保護者や地域に発信したことで少しずつ幼稚園教育に対する理解が深まってきていると思う。
- ・保護者の様々な願いや思いを知ることができ園として保護者の気持ちに添うように努力してきたことが一定評価されてきたように思う。
- ・園内研修や園外研修を重ねながら教員の資質向上、保育の質の向上につなげていくことが大切だと思う。
- ・子どもを取り巻く悪質な事件が続く中で園内外の安全管理についてさらなる点検配慮を行っていく。

V 今後取り組むべき課題

- ・園外保育や課外活動時の交通安全対策の更なる見直しを警察や地域と連携しながら行っていく。
- ・施設の防犯対策を含め、園舎の老朽化に伴う安全管理と教育環境の整備の更なる見直しと修理改善を行っていく。
- ・幼児一人ひとりを理解し、更に幅広い支援の知識を高め、教職員全体の資質向上を図っていく。
- ・『保護者との連携』を大切にし、意思疎通ができるように更なる工夫をし、信頼関係の向上に努める。
- ・価値観の多様化により、参観、行事等に対する意見が両極端に分かれる場合もあるが、各家庭の意見を謙虚に受け止め、適切な対処ができるよう努力していきたい。
- ・園外活動の機会を増やし、身近な恵まれた自然や地域の方々と触れ合う活動の更なる充実。

VI 学校関係者の評価

- ・先生方が一丸となって園児のためにご尽力なさっている姿を何度もお見かけしたことがあります。担任の先生によって子どもたちが受ける保育の質の差が出ないように、引き続きご配慮を頂けるとありがたい。
- ・どんど焼きなど、だんだん失われつつある地域の行事を昔ながらのやり方で続けてくださっていてとてもありがたい。
- ・何はともあれ、先生方の保育を後押しする園体制が最も大切なことと思う。働きやすい職場環境が最高の保育、教育の場となると考えるのでぶれない園経営がよりよい園づくりに大切だと思う。
- ・子供は幼稚園に行くのを毎日楽しみにしている。クラスの先生が大好きで、とても安心して通わせてもらっている。
- ・園庭で遊ぶ姿や声、子ども達が近くの道をランニングする姿に元気をもらえる。

VII 財務状況

公認会計士監査により、適正であると認められている。